

小学生の英語教育に関する意識調査

小学生の間に身に付けさせたい力「話す」56%

半数超が“ネイティブ講師”の指導を希望

進学塾・栄光ゼミナールを運営する株式会社栄光(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:山本博之)は、2018年1月10日(水)~1月24日(水)に、「小学生の英語教育」に関する意識調査を実施し、新小学1年生(現年長)~新小学6年生(現小学5年生)の子どもを持つ保護者 585人の有効回答が得られました。

- 「英語4技能」のうち、子どもが小学生の間に特に身に付けさせたい力は「話す」55.7%
「聞く」35.0%
- 子どもが小学生の間に英語を学ぶ際、“ネイティブ講師”を希望する保護者 52.0%
- 子どもに留学・ホームステイを経験させたい 68.8%だが、海外経験がある保護者は8割超が子どもに留学・ホームステイを経験させたい

<調査概要>

調査対象:新小学1年生(現年長)~新小学6年生(現小学5年生)の子どもを持つ栄光モニター会員

(栄光ゼミナール・大学受験ナビオ・個別指導ナビオに通塾する保護者)

調査方法:インターネット調査

調査期間:2018年1月10日(水)~1月24日(水)

回答者数:585名(新小1:2名(0.3%) 新小2:19名(3.3%) 新小3:41名(7.0%) 新小4:99名(16.9%)

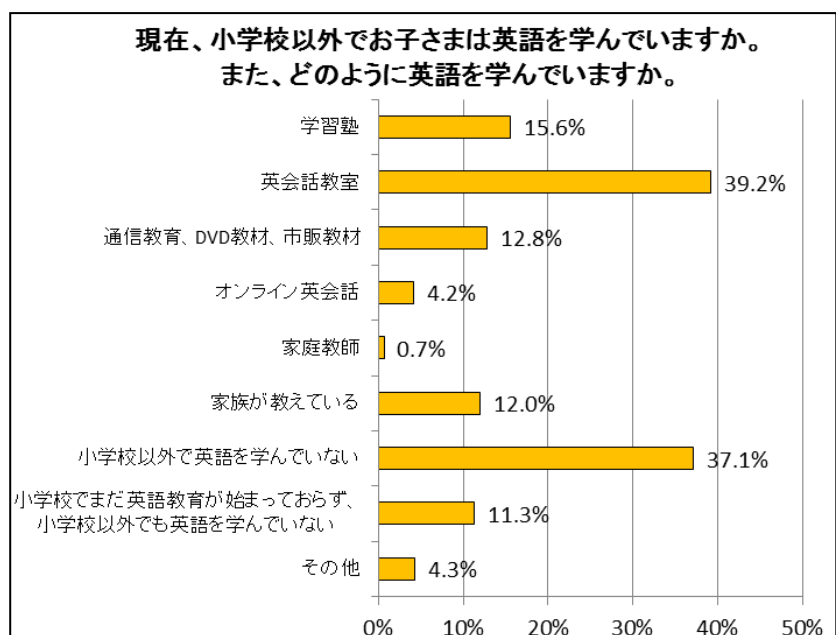
新小5:173名(26.0%) 新小6:251名(43.0%))

現在、小学校以外でお子さまは英語を学んでいますか。また、どのように英語を学んでいますか。

(n=577、回答数 791、複数回答方式)

現在、小学校以外で英語を学習しているかを調査したところ、**英会話教室で英語を学習している小学生が39.2%**と最も多かった。

また、すでに**学校で英語学習が始まっている小学生の6割以上**が、学校外でも英語を学んでいることが明らかとなった。

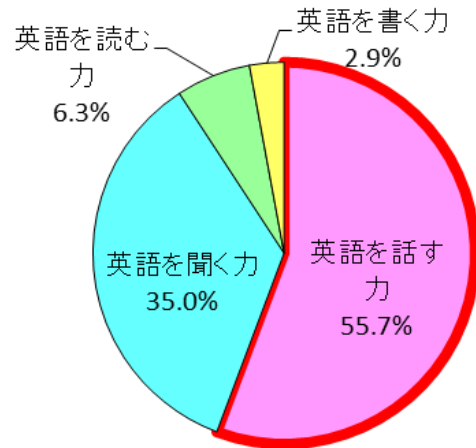


「英語4技能」で、お子さまが小学生の間に特に身に付けさせたい力は何ですか。

(n=585、単一解答方式)

2020年から始まる大学入試改革では、「英語4技能(話す・聞く・読む・書く)」をはかる民間資格試験(英検や TOEIC など)を大学入試に取り入れることが文部科学省より発表されている。「英語4技能」のうち、子どもが小学生の間に特に身に付けさせたい力を聞いたところ、**55.7%**の保護者が「**話す力**」と回答した。次いで多かった回答は「**聞く力**」で **35.0%**の保護者が身に付けさせたいと回答した。一方、従来の英語教育で重視されてきた「**読む力**」「**書く力**」については**いずれも1割未満**となった。「英語4技能」をバランスよく身に付けることは当然重要であるが、子どもが小学生の間は、読み書きよりも話したり、聞いたりといった能力を身に付けてほしいという保護者が多いと考えられる。

「英語4技能」で、お子さまが小学生の間に特に身に付けさせたい力は何ですか。

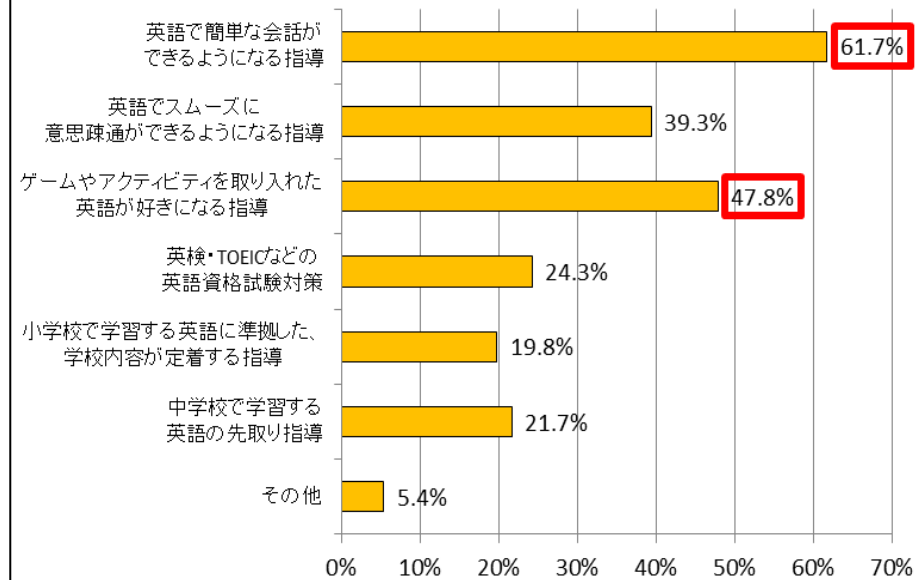


お子さまが小学生の間に英語を学ぶ際、どのような指導を重視しますか。

(n=577、回答数 1296、最大3つ選択)

子どもが小学生の間に英語を学ぶ際、最も多くの保護者が重視しているのが「**英語で簡単な会話ができるようになる指導**」で **61.7%**だった。また、「**ゲームやアクティビティを取り入れた、英語が好きになる指導**」が **47.8%**と続いた。保護者が「話す力」を重視しているため、会話ができるようになる指導を望んでいると考えられる。

お子さまが小学生の間に英語を学ぶ際、どのような指導を重視しますか。



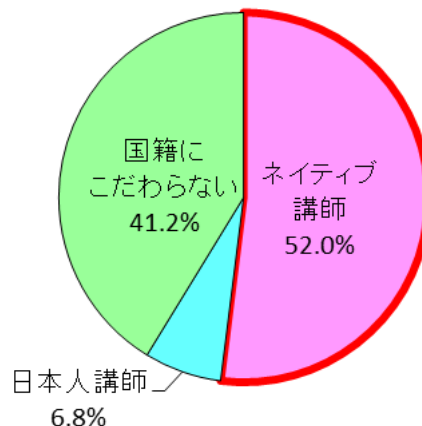
お子さまが小学生の間に英語を学ぶ際、どのような講師を希望しますか。

(n=577、単一回答方式)

子どもが小学生の間に、どのような講師の指導を希望するか聞いたところ、**52.0%**の保護者が「**ネイティブ講師**」を希望していることが明らかとなった。

「話す力」や「聞く力」を重視している保護者は、ネイティブ講師の指導を通じて、子どもが正しい発音で話すことができるようになったり、ネイティブの英語を聞きとれるようになったりすることを期待していると考えられる。

お子さまが小学生の間に英語を学ぶ際、どのような講師を希望しますか。



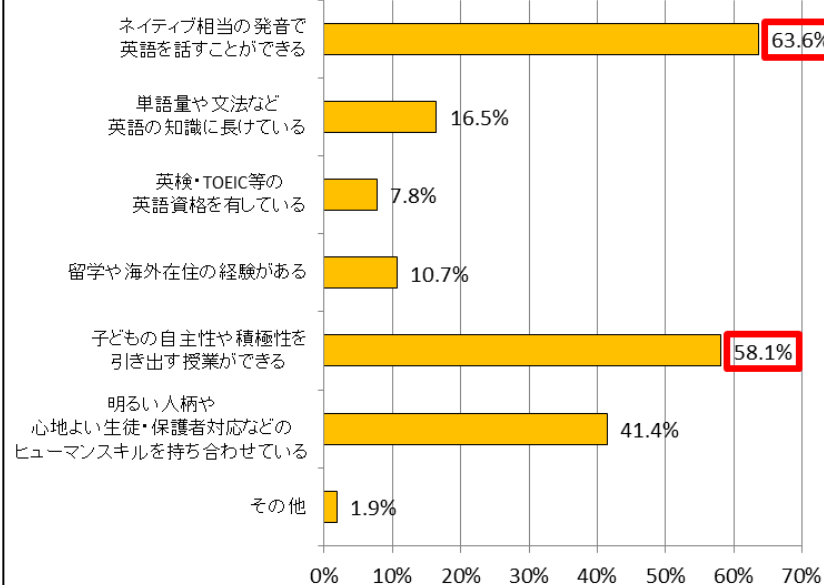
お子さまが日本人講師による英語指導を受ける際、日本人講師のどのような能力を重視しますか。

(n=577、回答数 1154、2つ選択)

子どもが日本人講師に英語指導を受ける際、重視する講師の能力で、多くの保護者が重視しているのは、「**ネイティブ相当の発音で話すことができる**」**63.6%**、「**子どもの自主性や積極性を引き出す授業ができる**」**58.1%**だった。「英語の知識」や「英語資格」、「海外経験」を重視する保護者の割合はいずれも高くなかった。

半数以上の保護者がネイティブ講師の指導を希望していることからわかるように、英語資格や英語の知識量よりも、子どもの「話す力」や「聞く力」に大きく影響すると思われる、「発音」を重視する保護者が多くいることが明らかとなった。

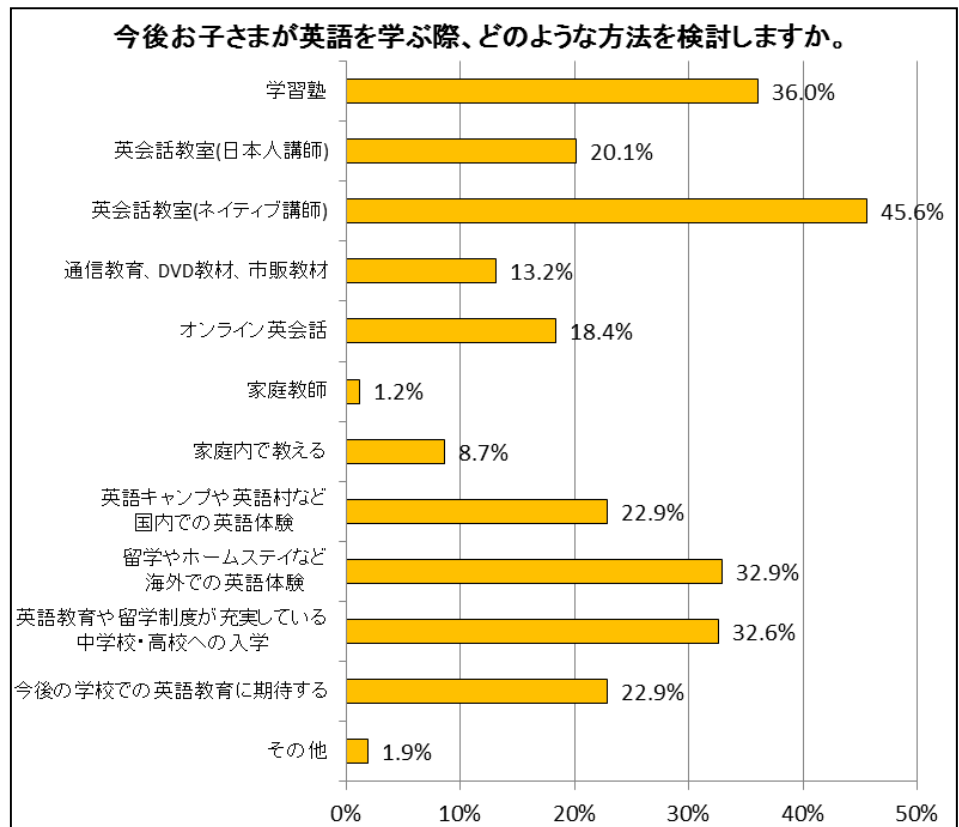
お子さまが日本人講師による英語指導を受ける際、日本人講師のどのような能力を重視しますか。



今後お子さまが英語を学ぶ際、どのような方法を検討しますか。

(n=577、回答数 1479、複数回答方式)

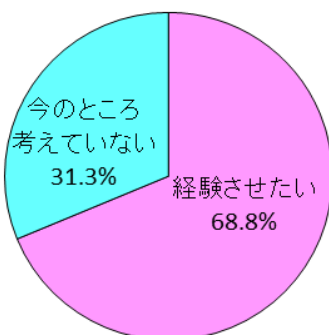
今後、子どもが英語を学ぶ際、検討する学習方法で最も多かったのが「**英会話教室でネイティブ講師に習う**」ことで、**45.6%**の保護者が検討すると回答した。また、「海外での英語体験」や「英語教育や留学制度が充実している中学校・高校への入学」を検討している保護者も約 33% となった。



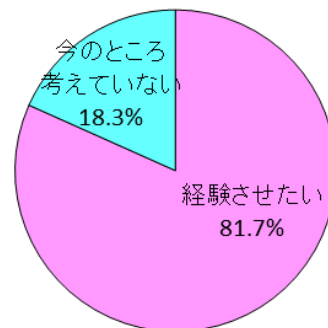
お子さまが英語を学ぶために、留学やホームステイなどを経験させたいですか。

(n=585、単一回答方式)

お子さまが英語を学ぶために、留学やホームステイなどを経験させたいですか。



お子さまが英語を学ぶために、留学やホームステイなどを経験させたいですか。
【保護者の海外経験がある場合】



子どもに留学やホームステイなどの経験をさせたいかを聞いたところ、全体の **68.8%**の保護者が「**経験させたい**」と回答した。留学・ホームステイや海外駐在など、**海外経験がある保護者 202 名に限った場合**、子どもに「経験させたい」と回答した保護者は **81.7%**と割合が高くなった。

栄光ゼミナール・小学英語クラス

栄光ゼミナールでは、2020年からは大学入試改革を見据え、「英語4技能」を小学生のうちからバランスよく学び、習得するための「**小学英語クラス**」を開講しています。日本人教師※1が4技能をバランスよく指導し、そこで学んだ英語を月に1回程度(年10回)、シェーン英会話のネイティブ教師※2との授業で実践。学年別ではなく、レベル別クラスで、使える英語力を育てます。

栄光ゼミナール・小学英語クラス

<http://www.eikoh-seminar.com/course/s09.html>

※1 専用の認定試験に合格し、小学生を対象とした英語指導のトレーニングを受けた教師

※2 英語指導資格を持った外国人教師

栄光の小学英語

聞く
話す
読む
書く
の4技能対策

2020年に行われる大学入試英語改革では、今までの学校教育の中心だった「読む」「書く」の2技能から「聞く」「話す」「読む」「書く」のいわゆる英語4技能を求める試験に変わることが明確されています。その流れを受けて、私大ではTOEIC®や英検などの英語試験を利用した入試制度が活用され始めており、大学が定めた基準点をクリアしている生徒は、英語の試験が免除になるなど、4技能の能力評価はすでに始まっています。

「小学英語」は1回の授業の中で4技能をバランスよく学びます
週1回
60分

読む力

聞く力

話す力

書く力

読む・聞く力

を身につける

Story

物語



文字と発音の規則を学びながら読む力をつけ、ネイティブ音源を利用して聞く力を養います。

語彙力と美しい発音

を身につける

Chants

発音



英語をリズムに乗せて言う「チャンツ」で単語を覚え、楽しみながら正しい発音を身につけます。

英語のルール

を身につける

Grammar

文法



文章の組み立てや英語ならではのルール・文法を楽しく学び、英語を書く力を高めます。

月謝 9,720円

※1回授業料、教材費、テキスト費が別途となります。

※2回授業料が別途となります。

※3回授業料は公立中学校・高校入試準備コースの授業料に含まれます。

月に1度ネイティブ教師と実践

生きた英語を聞きながら、身につけた英語を使ってアクティビティに取り組み事で、「聞く」「話す」の能力をより実践的に鍛えます。



会社概要

【株式会社栄光】

小学生・中学生・高校生対象の学習塾「栄光ゼミナール」や大学受験専門塾「大学受験ナビオ」、個別指導専門塾「個別指導ビザビ」等、首都圏を中心に全国約450教室を展開しています。生徒一人ひとりの目標に合わせて、少人数グループ指導と個別指導のどちらも学べる学習塾です。生徒の学ぶ意欲を引出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。そのほか、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室なども運営しています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目11番11号

代表： 代表取締役社長 山本 博之

設立： 1980年7月

本件に関する問い合わせは

ZEホールディングス広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax：03-5275-5348 Mob：070-4036-1980

メールアドレス：hiroko-okubo@ze-hd.co.jp